

平成26年度 鹿児島県医師会在宅医療提供体制推進事業

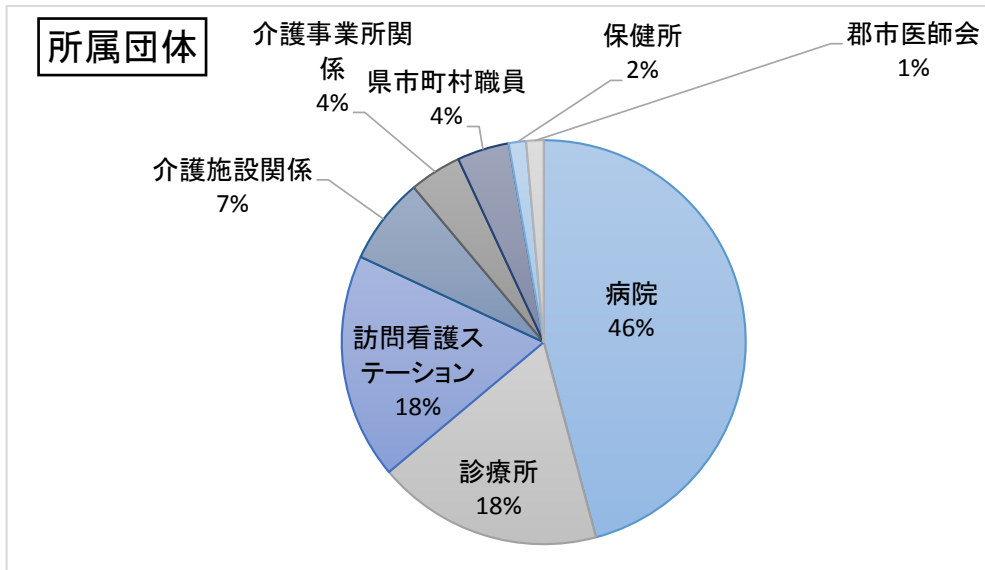
第5回関係職種の技術向上のための研修会 アンケート

県医分回答者 77/101名 回答率76%

所属

病院	33人	43%
診療所	13人	17%
訪問看護ステーション	13人	17%
介護施設関係	5人	6%
介護事業所関係	3人	4%
県市町村職員	3人	4%
保健所	1人	1%
郡市医師会	1人	1%
その他	5人	6%
	77人	

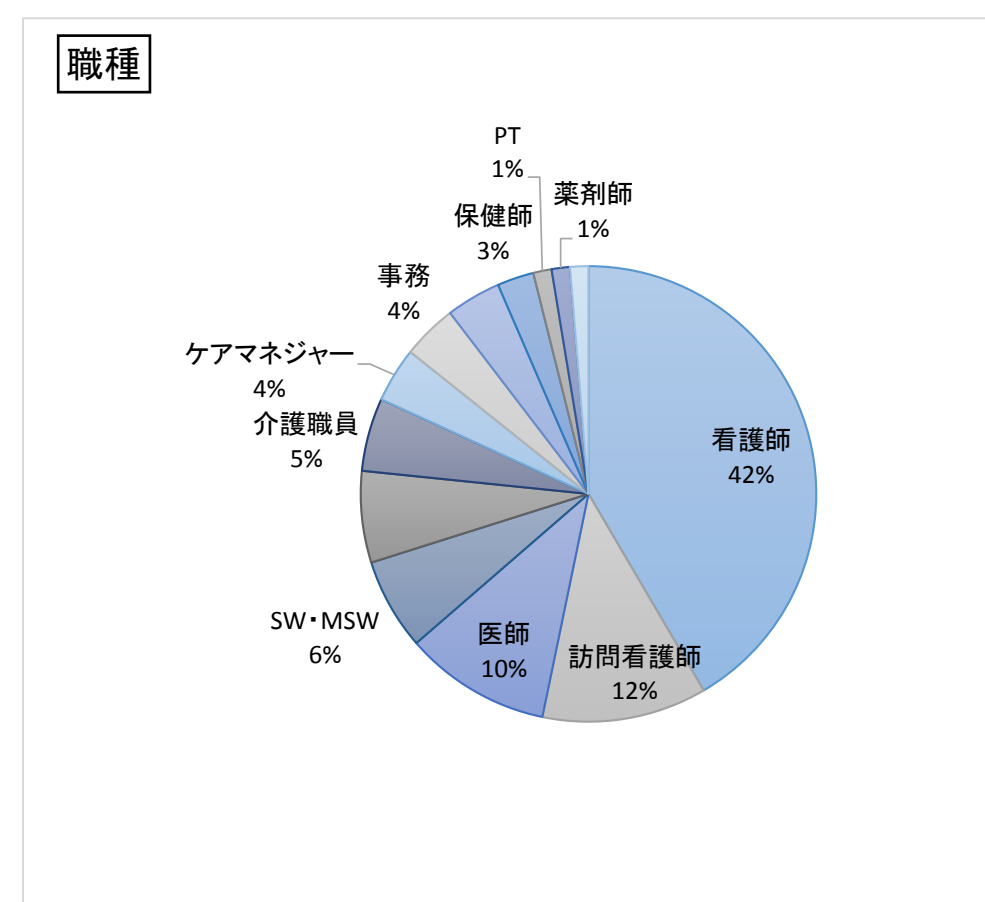
所属と職種をお答えください



その他内訳：社協1 栄養士会2 他1 未回答1

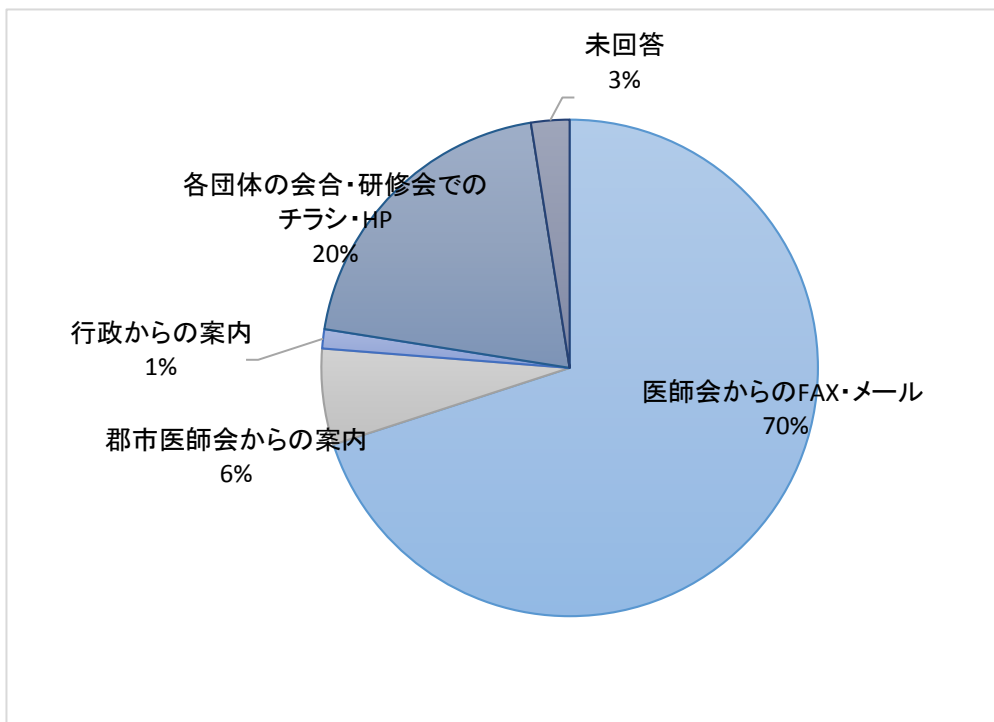
職種

看護師	32人	42%
訪問看護師	9人	12%
医師	8人	10%
SW・MSW	5人	6%
(管理) 栄養士	5人	6%
介護職員	4人	5%
ケアマネジャー	3人	4%
事務	3人	4%
心理士・臨床心理士	3人	4%
保健師	2人	3%
PT	1人	1%
薬剤師	1人	1%
未回答	1人	1%
OT		0%
PSW		0%
その他		0%
	77人	



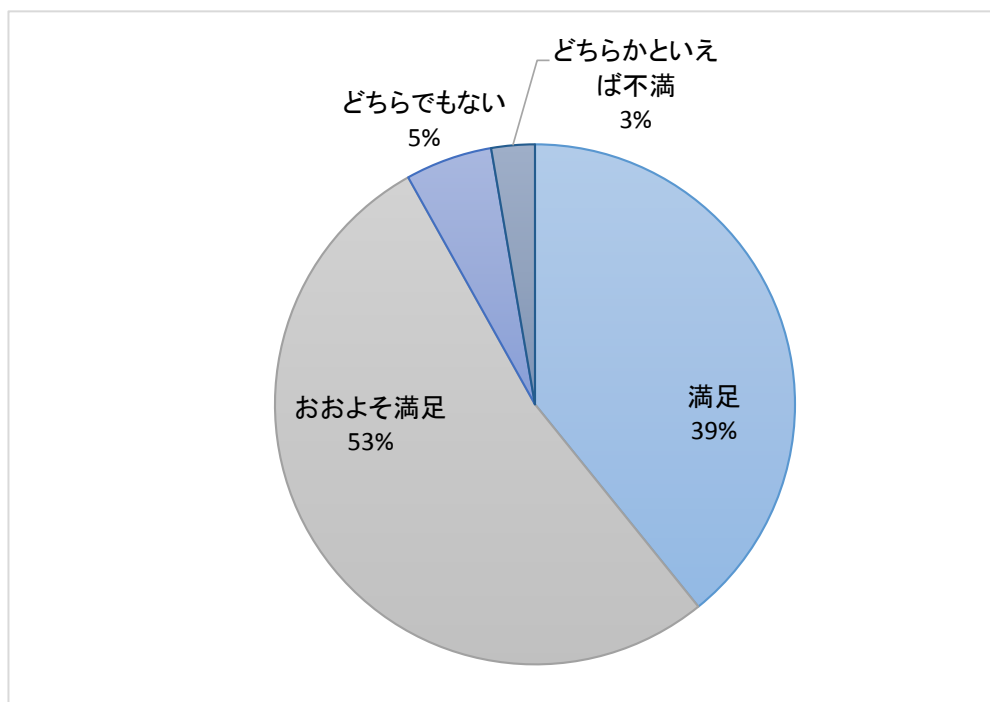
1 今回の研修会はどのようにしてお知りになりましたか。

医師会からのFAX・メール	56人	70%
郡市医師会からの案内	5人	6%
行政からの案内	1人	1%
各団体の会合・研修会でのチラシ・HP	16人	20%
その他	0人	0%
未回答	2人	3%
	80人	



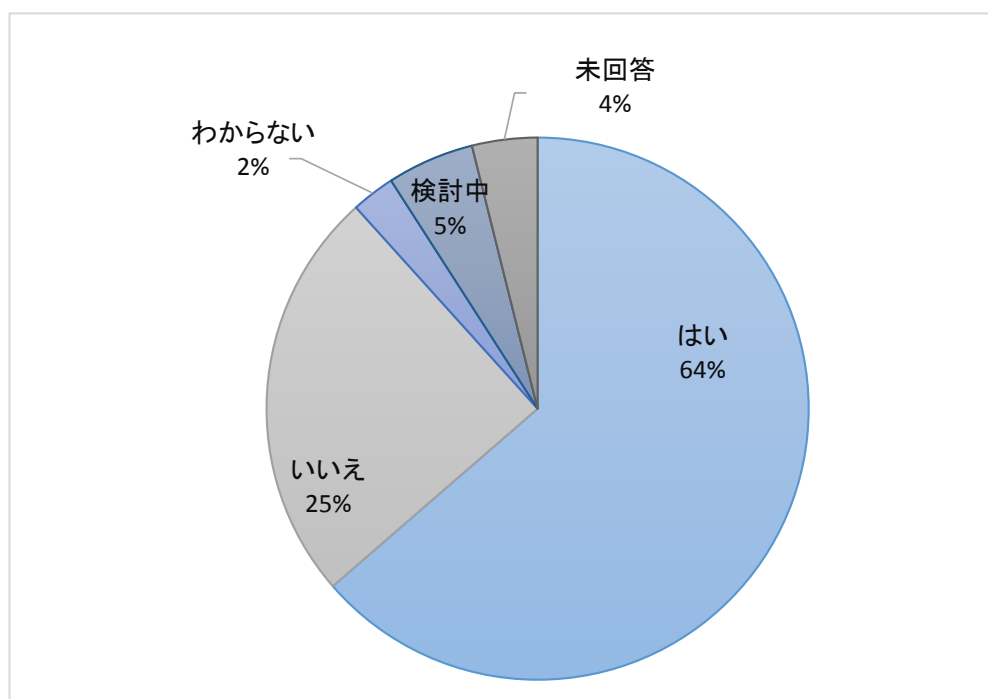
2 本日の研修内容はいかがでしたか。(1つのみ回答)

満足	29人	38%
おおよそ満足	39人	51%
どちらでもない	4人	5%
どちらかといえば不満	2人	3%
不満	0人	0%
未回答	3人	4%
	77人	



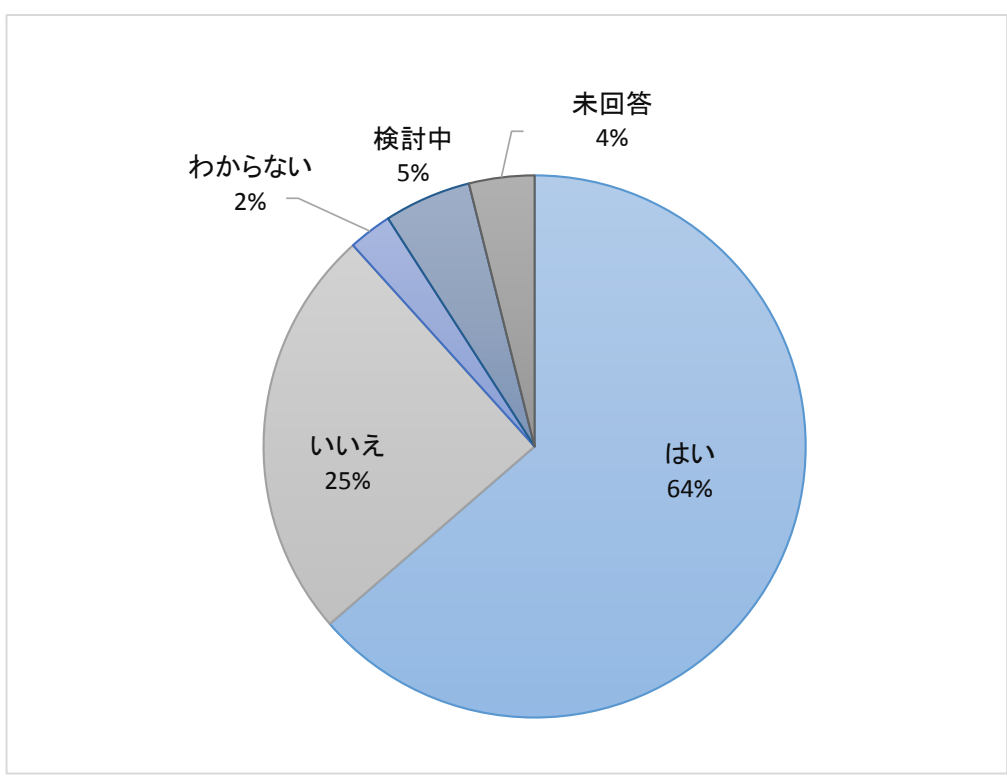
3 本日の研修内容は、技術向上につながりましたか(1つのみ回答)

はい	61人	79%
いいえ	0人	0%
わからない	12人	16%
未回答	4人	5%
	77人	



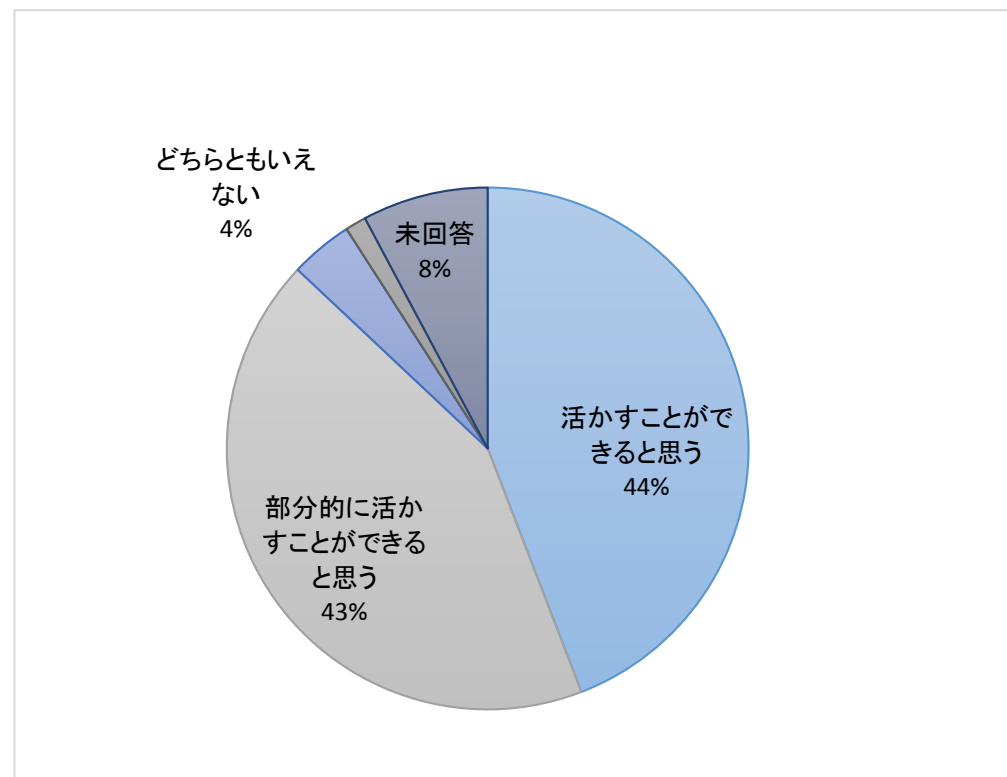
4 あなた、またはあなたの職場は、現在 在宅医療に取り組まれていますか。(一つのみ回答)

はい	49人	64%
いいえ	19人	25%
わからない	2人	3%
検討中	4人	5%
未回答	3人	4%
	77人	



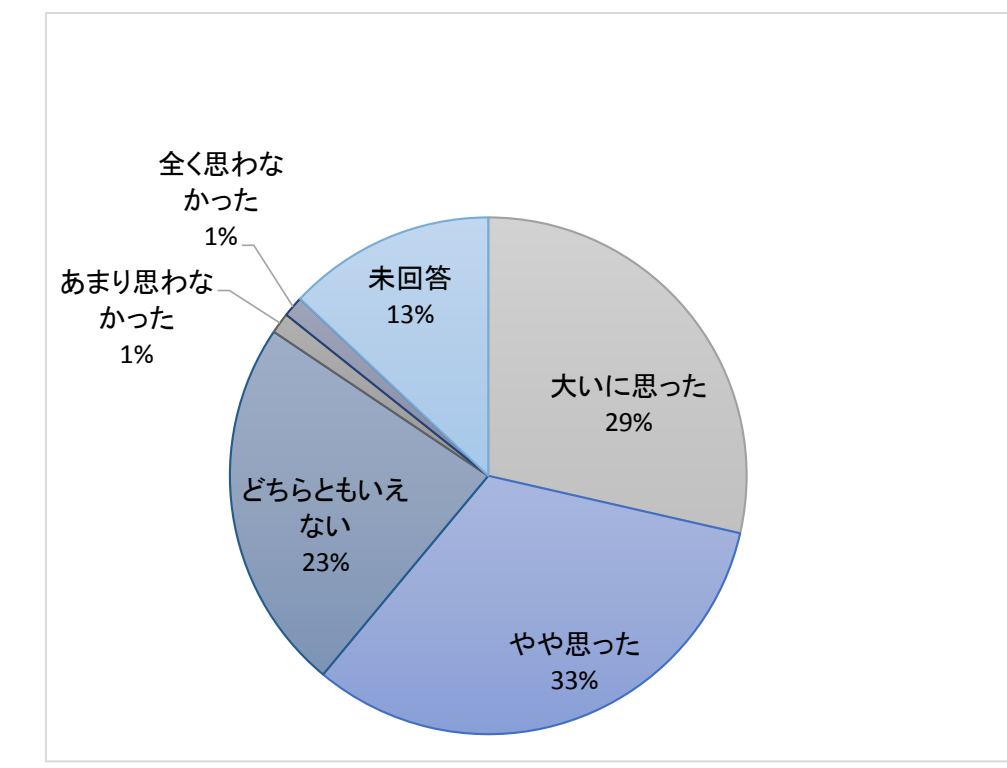
5 本日の内容は、今後在宅医療における多職種連携に活かすことができそうですか。(一つのみ回答)

活かすことができると思う	34人	44%
部分的に活かすことができると思う	33人	43%
どちらともいえない	3人	4%
あまり活かすことができないと思う	0人	0%
全く活かすことができない	1人	1%
未回答	6人	8%
	77人	



6 本日の研修会を通して、今後在宅医療に取り組もうと思われましたか。(一つのみ回答)

大いに思った	22人	29%
やや思った	25人	32%
どちらともいえない	18人	23%
あまり思わなかった	1人	1%
全く思わなかった	1人	1%
未回答	10人	13%
	77人	



勤務地

鹿児島市	51
いちき串木野市	5
始良市	1
日置市	2
霧島市	2
肝属郡	
薩摩川内市	3
鹿屋市	
南九州市	
南さつま市	3
薩摩郡	
曾於市	1
出水市	
人吉市	
垂水市	
枕崎市	
指宿市	6
穎娃町	1

奄美市	
喜界町	
与論町	
徳之島町	
和泊町	
大島郡	
知名町	
伊仙町	
瀬戸内町	
龍郷町	
大和村	
宇検村	
南種子町	
未回答	2

問7 がん患者等の緩和ケアについて、困難なことや悩んでいることがありますか

鹿児島市	病院	MSW	私は病院のMSWとして緩和ケアに関わっています。病院では当たり前に行えることが在宅では難しいことも多いです。在宅での緩和ケアがどのくらいできるのか知りたい、
鹿児島市	病院	MSW	患者側と医療側の病状に対するギャップ、積極的な治療、緩和ケアの選択
鹿児島市	社協	SW	患者の気持ちを理解できるかが不安である
鹿児島市	介護施設関係	PT	リハビリをする上で、痛みがありながらどこまで実施していいの？体力維持の為に思うが、こちらが消極的になってしまう。
鹿児島市	診療所	医師	疼痛のコントロールの経験がないため不安を感じている。
鹿児島市	介護施設関係	介護職員	緩和ケアにおいて介護スタッフの関わり方
いちき串木野市	病院	看護師	具体的な声掛けや、精神的・メンタルな面でのサポートについてよく理解できた。
指宿市	病院	看護師	まだまだ未告知の患者が多く、また家族の理解が乏しいということ
鹿児島市	病院	看護師	せん妄（難治性） 生きる目的が見つからないと話す患者とのかかわり
鹿児島市	病院	看護師	緩和ケアの移行のタイミングが難しい。（緩和=死が近い）といったところから家族が拒むこともある。
鹿児島市	訪問看護ステーション	看護師	かかりつけ医にて緩和ケアとの連携が不十分である印象がある。
鹿児島市	訪問看護ステーション	訪問看護師	往診で疼痛コントロールが図れない、麻薬の取り扱いができない在宅医がいました。
鹿児島市	訪問看護ステーション	訪問看護師	せん妄の方への対応。介護の負担大きいと自宅で看れず介護者が毎日夜間病院へ通うこともまた大変だったりする
霧島市	訪問看護ステーション	訪問看護師	メンタルケア 疼痛管理
薩摩川内市	訪問看護ステーション	訪問看護師	フェイススケールやオピオイド服用の回数を報告するがなかなかDrが変更してくれない。 ターミナルを診てくださるが、疼痛コントロールがうまく図れず、痛みを訴えて亡くなる方がいる。

問8 今後在宅医療を地域で取り組む場合、学びたい知識や情報

鹿児島市	病院	MSW	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅で行える医療処置 ・どのような症例があるのか知りたい
鹿児島市	病院	MSW	疾患に対する予後、経過の症状の把握、疾患を知らないと十分な対応ができない。
鹿児島市	社協	SW	患者の置かれた心理状況を理解できるような心理学的な見方について学びたい
鹿児島市	診療所	医師	皮膚腫瘍の治療
鹿児島市	介護施設関係	介護職員	精神面でのサポート法
鹿児島市	病院	看護師	行政の取り組み、サービス等の内容
鹿児島市	訪問看護ステーション	看護師	疼痛緩和について
鹿児島市	病院	心理士	老いた方の終末ケア、傾聴
南さつま市	保健所	保健師	先駆的な取り組みをしている地域の事例の紹介。それぞれの関係機関・職種がどのような役割を果たしているか

問9 その他ご意見

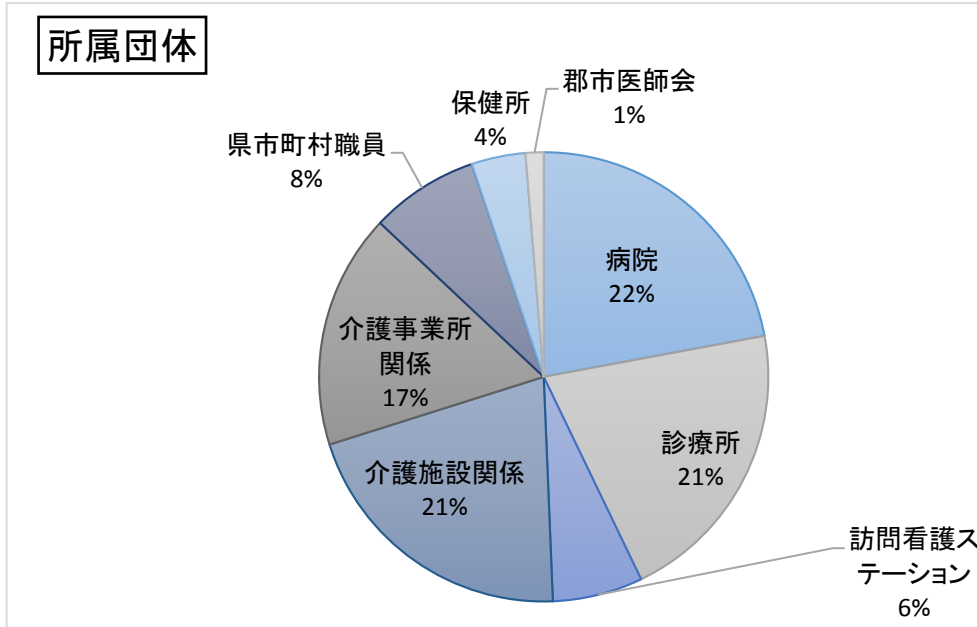
鹿児島市	病院	臨床心理士	慢性疼痛については、患者さんに痛みや症状を受け容れるような心理教育を行う場合があります。最近の慢性疼痛の心理療法の一つの流れです。
鹿児島市	県市町村職員	保健師	今回の研修では病院側に患者さんの声も、地域へ繋いでからのスタッフの声等あるとよかったのでは
霧島市	訪問看護ステーション	訪問看護師	とても分かりやすい講義でした。地域のDrの先生方も聞かれると分かりやすい内容と思った。飲めなくなり、麻薬も飲めなかった時どうすべきか 貧血が強い、口渇が強い人にも量変わらないのか
鹿児島市	県市町村職員	事務	緩和ケアセンターの後ろ盾があることは在宅での生活をするにあたって心強い
鹿児島市	介護事業所関係	ケアマネジャー	とても難しかったが少しずつだけでも知識にしていきたいと思いました。
鹿児島市	診療所	看護師	家族への説明の症例を聞きたい。家族が実行できる患者のケアの例。具体的に知りたいと思う。
いちき串木野市	診療所	看護師	現在病棟・外来で勤務していますが、緩和ケアはしていません。しかし、今回の研修を受け、すべての患者様のもつ全人的な痛みに向き合い対応する大切さを学べたと思います。不安をもつ方やせん妄のある方も多くいるため、どのように関わっていくかを再度考える機会になったと思います。 これからは在宅で最期を迎える方も多くなってくると思うので、そこをサポートできるようになるためにも、このような研修に参加していきたいと思います。少しでも死の不安を和らげ、肯定的に受け止めていけるような援助が出来ればいいと思いました。
鹿児島市	介護施設関係	介護職員	精神症状への対応の講演を聞きに来ましたが、がんに関する精神症状とは知らずに参加して、自分が思っていた講演ではなかった。
鹿児島市	介護施設関係	介護職員	地域での在宅医療を取り組む際、家族や患者様の負担軽減に介護分野も含めていくのが良いのではないかと思います。
鹿児島市	介護施設関係	介護職員	今回精神症状への対応について聞きたくて参加しましたが、がんがメインだったので自分が学びたいものと少しずれていた
鹿児島市	病院	MSW	精神科Drの話を聞く機会はあまりないので、本日の話はとても面白く勉強になりました。患者さんの精神症状も意識しながら話をしたいと思いました。有難うございました。
鹿児島市	病院	MSW	今日の資料が見にくかった

平成26年度 鹿児島県医師会在宅医療提供体制推進事業
 第5回関係職種の技術向上のための研修会 アンケート
 大島4カ所 87/112名 回答率78%

所属(重複回答有)

病院	17人	19%
診療所	16人	18%
訪問看護ステーション	5人	6%
介護施設関係	16人	18%
介護事業所関係	13人	15%
県市町村職員	6人	7%
保健所	3人	3%
都市医師会	1人	1%
歯科医院	1人	1%
その他	2人	2%
地域包括	8人	9%
未回答	1人	1%
	89人	

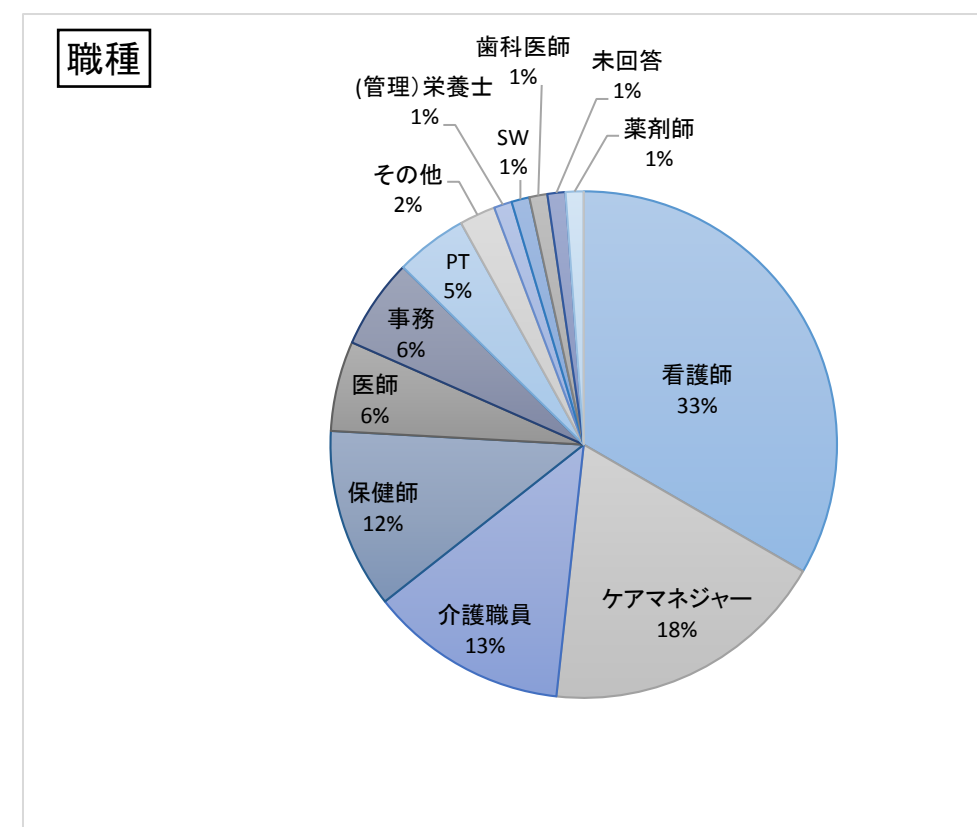
所属と職種をお答えください



その他内訳：薬局2

職種

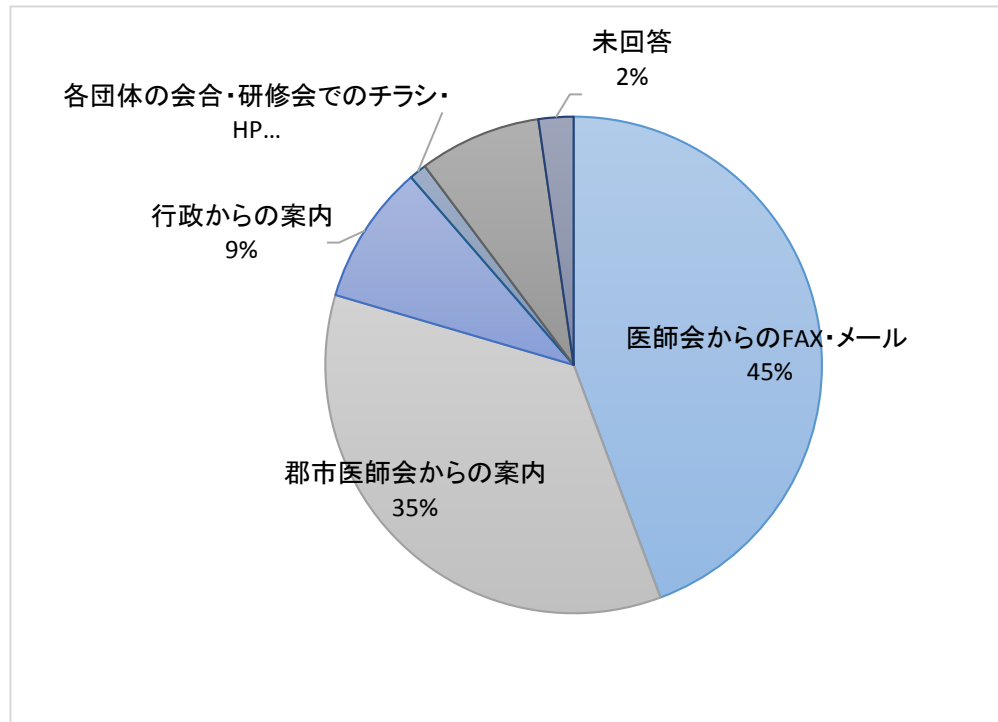
看護師	29人	33%
ケアマネジャー	16人	18%
介護職員	11人	13%
保健師	10人	11%
医師	5人	6%
事務	5人	6%
PT	4人	5%
その他	2人	2%
(管理) 栄養士	1人	1%
SW	1人	1%
歯科医師	1人	1%
未回答	1人	1%
薬剤師	1人	1%
訪問看護師	0人	0%
	87人	



その他：相談員1

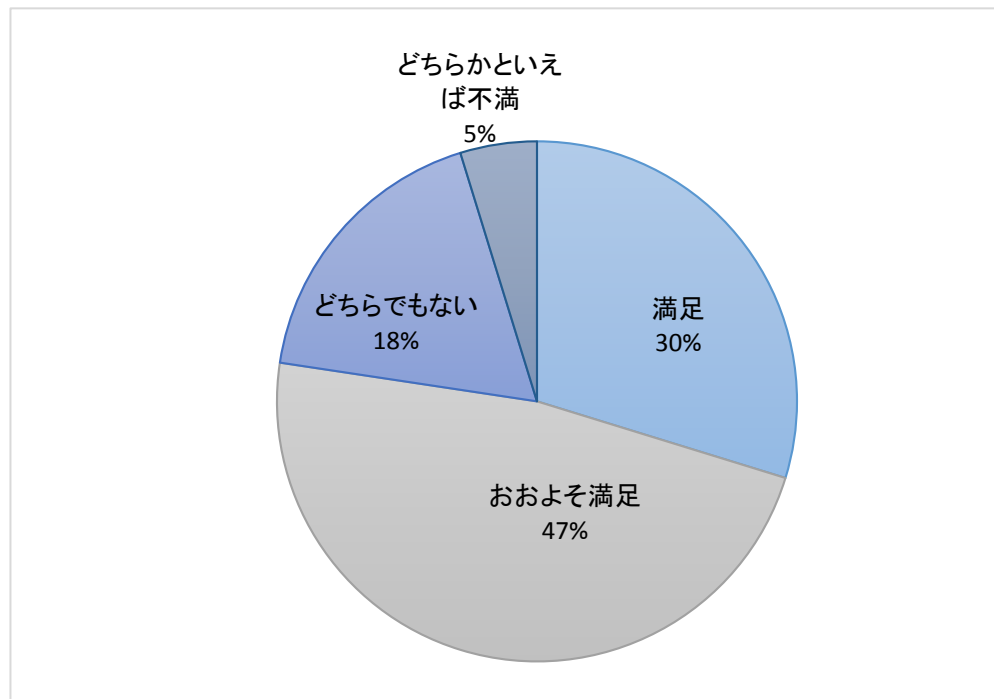
1 今回の研修会はどのようにしてお知りになりましたか。

医師会からのFAX・メール	39人	44%
郡市医師会からの案内	31人	35%
行政からの案内	8人	9%
各団体の会合・研修会でのチラシ・HP	1人	1%
その他	7人	8%
未回答	2人	2%
	88人	



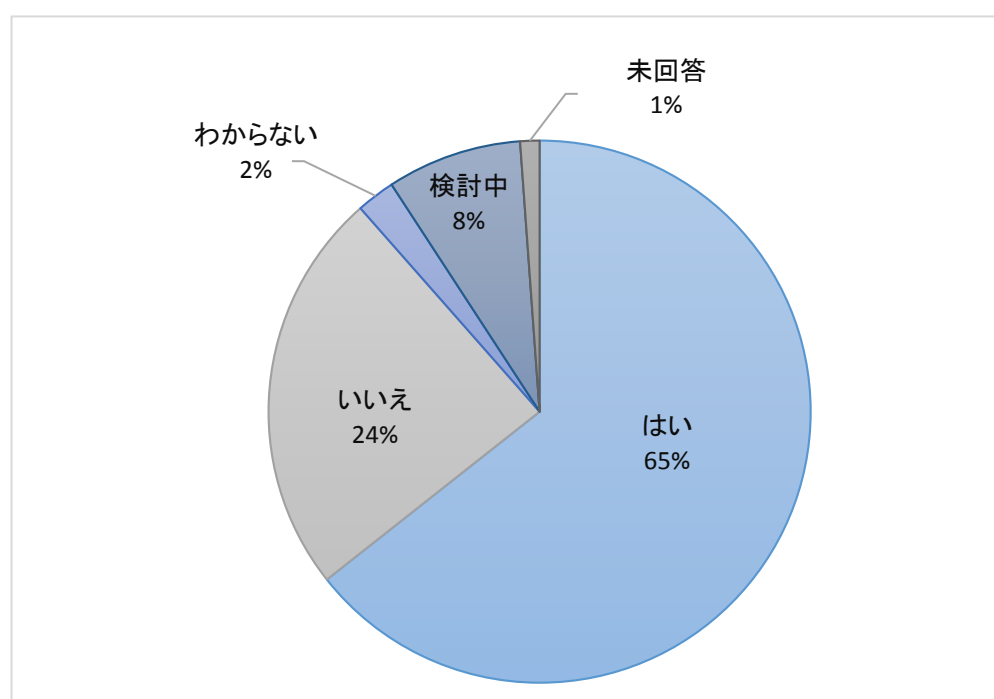
2 本日の研修内容はいかがでしたか。(1つのみ回答)

満足	25人	29%
おおよそ満足	40人	46%
どちらでもない	15人	17%
どちらかといえば不満	4人	5%
不満	0人	0%
未回答	3人	3%
	87人	



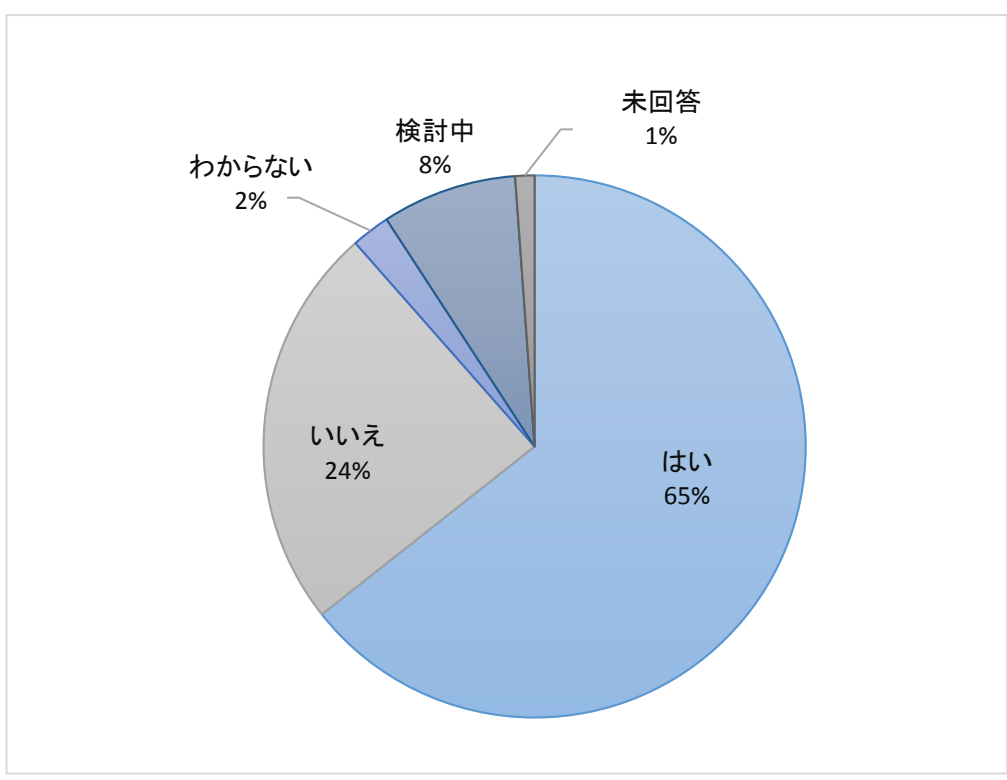
3 本日の研修内容は、技術向上につながりましたか(一つのみ回答)

はい	63人	72%
いいえ	2人	2%
わからない	20人	23%
未回答	2人	2%
	87人	



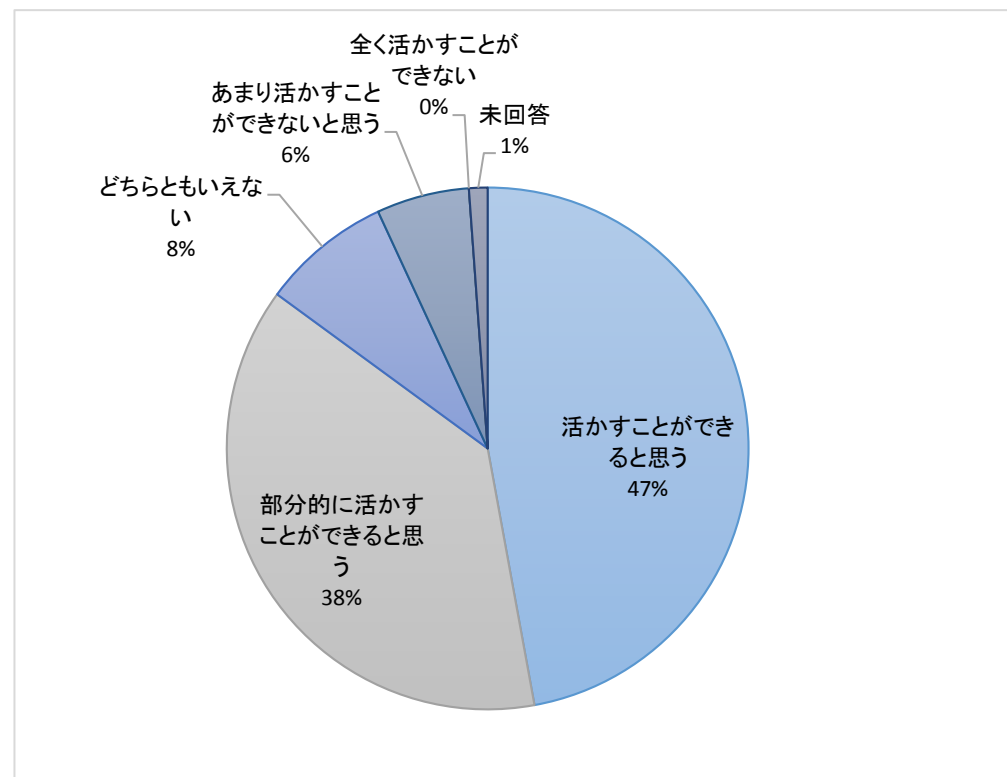
4 あなた、またはあなたの職場は、現在 在宅医療に取り組まれていますか。(一つのみ回答)

はい	56人	64%
いいえ	21人	24%
わからない	2人	2%
検討中	7人	8%
未回答	1人	1%
	87人	



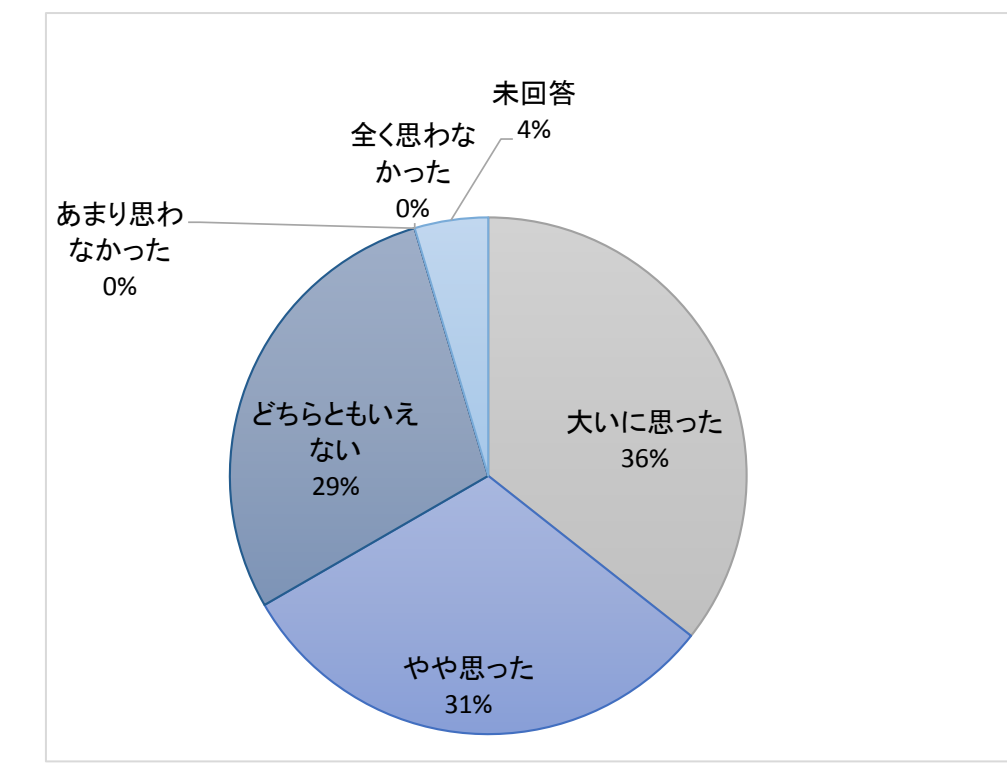
5 本日の内容は、今後在宅医療における多職種連携に活かすことができそうですか。(一つのみ回答)

活かすことができると思う	41人	47%
部分的に活かすことができると思う	33人	38%
どちらともいえない	7人	8%
あまり活かすことができないと思う	5人	6%
全く活かすことができない	0人	0%
未回答	1人	1%
	87人	



6 本日の研修会を通して、今後在宅医療に取り組もうと思われましたか。(一つのみ回答)

大いに思った	31人	36%
やや思った	27人	31%
どちらともいえない	25人	29%
あまり思わなかった	0人	0%
全く思わなかった	0人	0%
未回答	4人	5%
	87人	



勤務地

鹿児島市	0
いちき串木野市	0
始良市	0
日置市	0
霧島市	0
肝属郡	0
薩摩川内市	0
鹿屋市	0
南九州市	0
南さつま市	0
薩摩郡	0
曾於市	0
出水市	0
人吉市	0
垂水市	0
枕崎市	0
指宿市	0
穎娃町	0

奄美市	30
喜界町	0
与論町	7
徳之島町	15
和泊町	9
大島郡	5
知名町	12
伊仙町	4
瀬戸内町	3
龍郷町	1
大和村	1
宇検村	0
南種子町	0
未回答	0

問7 がん患者等の緩和ケアについて、困難なことや悩んでいることがありますか

知名町	診療所	医師	緩和ケアについて。定期的か不定期に研修会を開催していただきたい。
与論町	診療所	医師	家族への援助
与論町	病院	ケアマネジャー	治る医療から緩和医療に患者さんがうまく受け入れ出来ないことが多いなと思う。うまく受け入れ出来る説明や周りの関わり方を教えてほしい。
徳之島町	診療所	看護師	疼痛コントロール方法 家族とのかかわり
徳之島町	病院	看護師	当院には緩和ケアがなく、急性期病棟でがん患者さんの看護にあっていますが、精神的ケア、痛みのコントロール等適切に提供できているのか疑問。できうることを今あるスタッフで今ある環境で行うしかなく、現状の厳しい体制を緩和し、徳之島の方もしっかりと緩和ケアが行えるような**を作ってください。
奄美市	病院	看護師	何をしても「痛い」と訴える患者に対し、Dr指示の薬や体位を変える等行っても効果がなく、常に痛そうである。入浴、排泄、整容、食事何をしても疼痛があり、うまく行えない。何もしてあげられない自分にもやもやするが、骨転移が広く軽減してあげられない。
大和村	県市町村	保健師	離島での在宅医療緩和ケアの難しさ。在宅看取り体制を築いていく事の難しさ。
奄美市	診療所	医師	病棟で勤務している方々が、生活や人生を支える視点が乏しい事、特に医師、看護師。
奄美市	訪問看護	PT	現在がん患者で痛みで悩まされている方はないが、今後に繋げられると思いました。

問8 今後在宅医療を地域で取り組む場合、学びたい知識や情報

和泊町	地域包括センター	保健師	終末期医療
和泊町	地域包括センター	ケアマネジャー	ターミナルケア（がん以外）
徳之島町	病院	看護師	実際のターミナル患者へのアプローチを例にとって聞きたい(実際のグループワーク等)
与論町	診療所	医師	スピリチュアル・ケア
徳之島町	診療所	看護師	コミュニケーション技術 対話方法
徳之島町	地域包括センター	看護師	認知症について
与論町	病院	ケアマネジャー	ケモについて
奄美市	地域包括センター	保健師	高齢者の内服薬について

問9 その他ご意見

大島郡	診療所	医師	スライドを読みあげるだけの研修でした。本を読めばわかる範囲。もっとこなれた実践的な研修を期待していました。先日在宅ホスピスの川越先生夫妻の講演会を聴講した後なので正直失望しました。
知名町	診療所	医師	今回の研修会について大変役に立ちました。
奄美市	診療所	医師	福田先生にしばらく在宅の研修をしていただくともっと実用的なお話をしていただけると思いました。「在宅」「関係職種」をキーワードとして後援が可能な講師の選定としては明らかに失敗でした。（と多くの方が感じていると思います）
奄美市	訪問看護ステーション	看護師	専門的な内容だったが、なかなか聞けない内容だったので興味を持って聞くことが出来ました。
奄美市	病院	看護師	今まで疼痛のある患者をみたとき、業務の多忙さや知識不足から、薬の検討・体位など考えることが多かった。「スピリチュアルペイン」に注目することが少なかったと思う。患者の気持ちを考え、明日から向き合っていきたいです。
徳之島町	地域包括センター	看護師	勉強になりました
奄美市	郡市医師会	看護師	介護職など医療職以外の方へ薬剤効果、使用段階の薬など、難しい内容だったと思います（わからなかったとご意見有）観察ポイントがあるといいいかな、多職種向けだと共通言語をどこにするか難しい課題だと思いました。
徳之島町	介護施設関係	介護職員	7.8については、医療での関わりが多く、我々介護職員ができるケアはおむつ交換、清拭等、または声掛けでのターミナルケアです。在宅でこれまでかかわった患者さんは苦しむことなく家族ケアマネDrナースヘルパー等の連携で痛みを訴えることなく静かに生活され、眠るように亡くなりました。これからもそういった(苦しむ姿を見ることなく)ケアが出来ればと思います。
奄美市	介護施設関係	介護職員	この研修で感じたことは、相手の気持ちに立って考えること、相手の言葉に耳を傾けることが重要だと感じました。相手の苦しみを理解し、悩みを聞くだけでも心のケアができることに気づきました。
知名町	介護事業所関係	介護職員	薬剤について、知識がないためほとんど理解できませんでした。(精神症状(せん妄)への対応について) がん疼痛治療のコツについても同じく薬剤の知識がなく、今後仕事に役立てることはないかと思いますが、部分的には勉強になりました。
知名町	介護事業所関係	介護職員	介護職で薬のことはあまり知識がなく、講演を聞いてて理解が難しかったです。
和泊町	地域包括センター	保健師	本人しかわからない痛みにどれだけ寄り添う、理解し、支援していく事の重要さ、難しさを感じた。薬の理解も必要だと思った。

奄美市	地域包括センター	保健師	奄美での在宅での看取りや地域での緩和ケアの実情について知りたいです。
奄美市	訪問看護ステーション	PT	痛みに対する処方箋と効果に関しても、自宅(在宅)での反応や、発言を評価し連携を図ることで、より処方箋検討につながるということが分かりました。有難うございました。